

てげてげ運転を追放しよう

9月21日、交通安全キャンペーンが北西方の三本松で行われました。交通安全協会小林支部の主催で会員ら約40人が参加。通行するドライバーにチラシやグッズを配布し、てげてげ運転の追放など交通安全を呼びかけました。



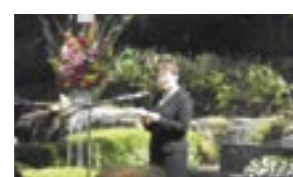
小林Jクラブ2選手が全国大会に挑む

9月21日、柔道の全国大会に宮崎県代表として団体戦に出場する小林Jクラブの溝口愛歌さん（小林小5年）と中西太海くん（同5年）が市長を表敬訪問しました。2人は「協力して優勝を狙いたい」を意気込みを語っていました。



文学者黒木清次氏を偲ぶ

9月23日、市文化連盟主催の黒木清次文学碑祭がすきむらんどで開催されました。黒木氏は「龍舌蘭」の創刊や、芥川賞候補2回、宮崎県文化賞を受賞するなどした旧須木村出身の文学者。記念碑への献花や、詩の入賞作25点の表彰などがあり、氏を偲びました。



「まんぷく」がNPO法人に認定

9月21日にNPO法人に認証された「特定非営利活動法人まんぷく」の認証書交付が、28日、市長応接室で行われました。まんぷくでは、障がい児のデイサービス、療育、放課後の学童保育を目的に活動を開始しています。



今年も赤い羽根共同募金始まる

10月3日、赤い羽根共同募金厚生労働大臣メッセージの伝達式が市長室で行われました。社会福祉協議会種子田與市会長が「人々が助け合い、支え合う地域社会を築いていくことが重要」と小宮山洋子大臣のメッセージを代読しました。



講演のほかには、自転車シュミレーターを使った安全運転講習を開催。また、反射材の効果を実証する実験も行われました。

てげてげ運転追放を心がけて 梅田学園が交通安全の集い

10月1日、文化会館で梅田学園交通安全の集いが開催されました。講演では、小林警察署の垂水保樹交通課長が交通事故の現状を説明。垂水課長は交通事故は朝夕の交通量が多い国道で、わき見などが原因で起きていることを挙げ「てげてげ運転をしないことの心がけを」と呼びかけました。



同センターではNPO法人設立に関する相談に応じるほか、講座を開催。会議室も無料で貸し出します。問：Tel 27-3177

市民活動の支援と活性化へ 支援センターを開設

10月1日、市民活動支援センターの開設式が市役所第4別館で行われました。同センターは市民活動の促進や支援などを目的に設置したもの。運営するNPO法人「エコワールドきりしま」の藤元隆理事長は「市民の力を結集し、住みよいまちづくりの拠点にできれば」と話していました。

よろず生産の神を祭る祭典 陰陽石まつりが今年も盛況

9月23日、こばやし陰陽石まつりが、陰陽石自然公園で開催されました。同まつりは、毎年秋分の日で開催。神事祭典では、新しい綱がかけられた陰陽石へ五穀豊穡を祈願。同公園駐車場や東方地区運動場では、四半的弓道や綱引き大会、ゲートボールやペタンクなどが行われ、ステージで市内の12団体が、歌やダンス、舞踊を披露しました。



毎年、陰陽石に奉納される目玉の東方輪太鼓踊り。今年は東方中学校の生徒29名が見事に踊り上げて、会場を沸かせていました。

「和牛オリンピック」連覇へ 西諸県支所の繁殖雌牛群が優勝

9月28日、来年長崎県で開催される「全国和牛能力共進会」を前に宮崎県出品対策共進会が小林地域家畜市場で開催されました。「もう一度奪え 日本一」をスローガンに、同協会県支部の7支所から58頭が出場。グランドチャンピオンに西諸県支所の繁殖雌牛群が選ばれました。



【写真手前から】グランドチャンピオンに輝いた今村鉄男さん、二木伸之さん、永野利春さん、坂元幸保さん。（出品者名）



永山係長は、共感し気持ちを伝えることなど自殺防止のために私たちが心がけたいことを話しました。

生き心地の良い地域づくりを 自殺予防講演会

9月16日、慈敬園で自殺予防講演会 & 三味線ライブが開催されました。第一部では、小林警察署生活安全課の永山正春警察相談係長が「一般犯罪防止と自殺防止」と題し講演。永山係長は「明るい社会づくりには家族や地域の絆が大切。悩んでいる人のサインに気付いてほしい」と話していました。



「鋭いガに注意して、須木の大自然を楽しんでください」と実行委員。参加者は、慎重にかつ笑顔で栗拾いを体験していました。

秋の味覚を求めて 須木で栗まつり開催

9月23日、すきむらんどで栗まつりが開催されました。まつりの目玉イベントである栗拾いでは、市内外から訪れた参加者が生産農家5戸で大自然の中、旬の味覚の収穫を堪能。すきむらんどイベント会場では、地場産品の販売やステージイベントもあり、多くの人で賑わいました。